



理念	現場運営	知識	合計
／16	／25	／59	／100

所属施設: 所属部署: 受験番号: 氏名:

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ1人1人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

注)問題文で指定がない場合、ひらがなでの解答を可とします。問題文に指定がある場合、漢字間違いは減点もしくは不正解となります。問題文をしっかりと確認し、記入しましょう。

《法人理念に関する問題》

1. この度、特養ご入居者のご家族が、久しぶりに面会に来られました。ご入居者にとっては、ご家族の面会は共に過ごせる貴重な時間となります。その貴重な時間を、私たちのおもてなしひとつでさらに充実したものに変わることができます。ご家族が面会に来られた際のスタッフの対応について以下の設問に答えなさい。

(1)ご入居者に面会に来られたご家族に対して、ゆったりとした気持ちで談話できる雰囲気を作るためにはどのようなことを行うか 2 つ答えなさい。

(配点 1 × 2)

① _____

② _____

(2)ご家族の面会時に日頃のご利用者様の様子を直接お伝えすることは、私たち介護者がどのように関わっているのかをしてもらう絶好の機会でもあります。久しぶりに来られたご家族に対して居室担当のあなたは、どのようなことをお伝えするか、2 つ答えなさい。(配点 1 × 2)

① _____

② _____

2. サービス品質を向上させるためには、施設内研修を充実させることが重要です。また、研修の内容はサービス運営や現場の状況に合わせて必要な項目を組み合わせて、計画することが大切です。研修計画について、以下の問いに答えなさい。

(1)ケアマイスターゴールドクラスを取得したあなたは研修運営メンバーとなり、研修計画を立てることになりました。会議で研修内容を検討するにあたり、昨年度の研修実績を分析すると、以下のような 2 つの課題が挙がりました。それぞれの課題への対策を 2 つずつ答えなさい。

(配点 1 × 4)

	内容	参加者数		アンケートの結果		
		正社員	パート社員	満足	不満	どちらでもない
第 1 回	法令遵守	22 名／30 名	18 名／70 名	8	12	20
第 2 回	感染症	24 名／30 名	22 名／70 名	10	10	26
第 3 回	身体拘束・虐待防止	20 名／30 名	20 名／70 名	5	3	12
第 4 回	リスクマネジメント	20 名／30 名	18 名／70 名	7	10	21
第 5 回	災害対策	25 名／30 名	20 名／70 名	12	13	20

【課題分析】

1)勉強会の参加者が少ない。(参加率: 約 40%) また勉強会の参加者は正社員が多く、パート社員の参加者が少ない

2)アンケートの結果、「不満」、「どちらでもない」の回答が多かった。

①参加人数を増加させるための対策

1、 _____

2、 _____

②研修内容の満足度を上げる対策

1、 _____

2、 _____



3. 日々の業務において、「報連相(報告・連絡・相談)」は不可欠なものです。下記の状況について、それぞれにどういった「報連相」を行うべきかを答えなさい。また「報連相」を怠ると、どのようなトラブルにつながる恐れがあるかも記述しなさい。(配点 2×4)

① あなた＝通所介護 生活相談員

デイサービスを利用している利用者から、1 週間後に予定されている外出ツアーに追加で参加したいと希望があり、送迎時に家族に確認すると「ぜひ連れて行ってください」と承諾を得られた。

・報連相先→ケアマネジャー

・報連相の内容→()

・報連相を怠った場合に想定されるトラブル→()

② あなた＝特別養護老人ホーム 介護職

特養に入居している利用者(独歩移動)が転倒し、尻もちをついた。臀部軽度痛みあり、看護師とケアマネジャーに報告し、臀部確認後、外傷等なく歩行もしっかり行なえているので様子観察することとなった。他スタッフにも報告は済んでいる。

・報告 連絡 相談先 → 家族

・報告 連絡 相談内容 → ()

・トラブルの要因 → ()

《現場運営に関する問題》

1. 高齢者施設では利用者の人生の最期に立ち会うことも少なくありません。高齢者は旅立ちに向かってゆっくりと進行する場合が多く、1 週間くらい前から、徐々にその兆候があらわれます。看取り期の対応に関して、次の問いに答えなさい。

(1) 亡くなる前の変化として個人差はありますが、以下のような症状が現れます。例文以外で現れる変化を 2 つ答えなさい。

(配点 1×3)

例)睡眠時間が増える、せん妄が出現する

1、

2、

3、

(2) 死を迎えようとする終末期ならではの症状に「せん妄」があります。以下のような変化が現れるせん妄に対し、介護職としてできることと、そのように考える理由を答えなさい。(配点 2)

【せん妄の症状】

・普段とはまったく違う言動・行動をする

・落ち着きがなくなり、不安やあせりにかられる

・眠れなくなる

2. 高齢者施設には様々な入所基準があります。バルンカテテル留置もその一つです。在宅で多く存在する医療的な処置のため、ショートステイ利用者の中にも数多く見られます。看護師が中心で対応する事ではありますが日常生活の関わりとしては、介護職の観察や対応が重要なウエイトをしめ、異常時に看護師へ相談報告することがとても重要です。バルンカテテル留置の観察ポイント 2 つと介護の注意点に関して 1 つを答えなさい。

(配点 2×3)

＜観察ポイント＞

①

②

＜介護する際の注意点＞

①



3. 体験利用者の受け入れに関する文章を読み、以下の問いに答えなさい。

あなたは、デイサービスのスタッフとして働いています。先日、体験利用をされた利用者の担当ケアマネジャーより、本利用は辞退するとの連絡が入りました。あなたはその理由が気になり、担当ケアマネジャーに確認をしたところ、

「①色んなレクリエーションが楽しめると思って行ったのに、同じ席で座ってばかりで、何もしない時間が多かった」

「②友達もおらず、仲間外れのように楽しなかった」

「③スタッフの方は、皆忙しそうで、誰に話しかけていいかもわからず、不安で寂しかった」

と、体験利用の感想を伺いました。あなたは、体験利用者への配慮が足りず不安で寂しい思いをさせてしまったこと、また、紹介して頂いたにも関わらず期待に沿う対応ができなかったことを謝罪しました。また、今後も起こりうる事案として、部署内で対応策を検討し改善していくことを伝えました。早速、あなたは、部署会議で議題に挙げ、以下のことについて話し合いました。

(1) この体験利用者が本利用につながらなかった原因はどのようなことが考えられますか。①～③の感想から読み取れる原因を、具体的に答えなさい。
(配点 2)

(2) 今後の受け入れに際して、体験利用者が不安なく過ごせるようにスタッフが前日までにどのような準備ができるか、その具体例を答えなさい。
(配点 2)

4. あなたは、デイサービスで働くスタッフです。下記情報をもとに(1)～(3)までの問題に答えなさい。

<今月のデイサービス運営情報>

	平日	土曜	日曜	合計
稼働日内訳	22 日	4 日	4 日	30 日
経過日数状況	11 日	2 日	2 日	15 日

	平日平均	土曜平均	日曜平均
集客目標	55 名	54 名	50 名
今月実績(15 日現在)	53 名	55 名	49 名

(1) 今月前半の 15 日間(平日 11 日、土曜 2 日、日曜 2 日)でデイサービスを利用した人数を計算しなさい。(配点 2×2)

①平日利用人数の総数

答え: _____ 名

②土曜・日曜利用人数の合計

答え: _____ 名

(2) 月間の残り平日数は 11 日です。平日の目標を達成するために、残りの平日で必要な利用者の総数を計算しなさい。(配点 2×2)

①平日前半 11 日分の不足人数

答え: _____ 名

②平日後半 11 日間で必要な利用者人数の合計

答え: _____ 名

(3) 1 月 6 日のデイサービス出勤者の勤務状況は下記のとおりでした。この日のスタッフ数を、常勤換算になおすと何名になりますか。(配点 2)

* 1 日に 8 時間勤務の職員を常勤とする。

<出勤状況>

正社員／2 名

パート(AM4 時間勤務)／2 名

パート(PM4 時間勤務)／1 名

ドライバー(送迎時間 1 時間×2 回 勤務)／3 名

食事サポートスタッフ(1 時間勤務)／2 名

答え: _____ 名



《知識問題》

1. 医療行為について、以下の問いに答えなさい。(6)

I. 「原則として医療行為ではないもの」として介護スタッフが行えるケアを下の①～⑤から2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 軽微な切り傷や火傷の処置を行う ② インスリン注射の前に血糖値を測定する
③ 導尿 ④ 服薬介助や坐薬の挿入 ⑤ 摘便

--	--

II. 「医師」のように医師法で定められた医行為を独占して行うことを、業務独占と呼びます。これに対し、「介護福祉士」のようにその国家資格において、登録による有資格者だけがその名を用いることができる法的規制を何と言いますか。
漢字 4 文字で答えなさい。(配点 2)

--

III. 2011 年の社会福祉士法及び介護福祉士法の改正により介護福祉士の業務に加えられた行為で、一定の研修や演習を終了した介護職員が行える「医療的ケア」と呼ばれる行為はどんなことですか。1 つ答えなさい。(配点 2)

--

2. 口腔ケアについて、以下の問いに答えなさい。(9)

I. 年齢を重ねると体にはさまざまな変化が現れます。高齢者の口腔内で起きている問題や症状を 1 つ答えなさい。(配点 2)

例) 虫歯や歯周病が多い。

--

II. 下記の文章・表の()内に適切な語句を語群から選び、記号で答えなさい。(配点 1×7)

口腔ケアには、口腔や義歯清掃などの()ケアと、口腔機能の治療や機能訓練などの()ケアがあります。口腔ケアは、疾患や口臭などの予防はもちろん、高齢者の死因上位である()の予防や、食欲を増進させ身体機能の回復や生活意欲の向上にもつながります。

《 口腔ケアのポイント 》

義歯の取り扱い	・総入れ歯は()の順に入れ、外す際はその逆に行う ・()で清掃し、ひずみや割れが生じないように、水や義歯洗浄剤に浸して保管する
ベッド上で実施する場合	・特に安全と安心を考慮する ・状態に合わせてセミファラー位または()位で行う
片麻痺のある利用者に実施する場合	・麻痺の部位や程度を考慮し、()を意識して援助を行う

【 語群 】

ア 上→下	イ 下→上	ウ 仰臥	エ 器質的	オ 患側	カ 健側	キ 側臥	ク 水またはぬるま湯	ケ 歯磨き粉
コ 誤嚥性肺炎	サ 伏臥	シ 熱湯	ス 機能的	セ 悪性新生物(ガン)				

3. 寝床上でとる体位について、説明に合った適切な体位を、下記の語群より選び記号で答えなさい。(配点 1×4)

①	上半身を約 45 度起こした体位。嚥下がしやすく、食事時に適している。	
②	最も支持基底面が大きく安定し、筋緊張も少ない体位	
③	心疾患のある人には安楽な体位であり、喘息発作時などに呼吸がしやすくなる。	
④	緊急時の回復体位。吐物で窒息しないように吐き気をもよおす際にもとる。	

【 語群 】

ア 仰臥位	イ 側臥位	ウ 腹臥位	エ 長座位	オ 半座位(ファラー位)	カ 起座位	キ 端座位
-------	-------	-------	-------	--------------	-------	-------

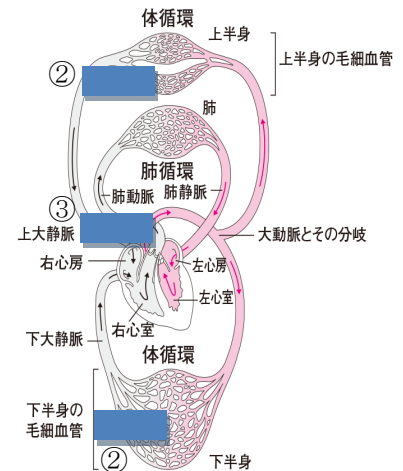


4. 心臓とその仕組みについて、以下の問いに答えなさい。(7)

I. 心臓は握りこぶしよりやや大きく、その壁は主に①心筋という厚い筋肉で構成されています。この心筋が弛緩・収縮を繰り返すことで血液を循環させる役割を果たします。【図 1】のように、血液が心臓を出て全身に至り、毛細血管を経て再び心臓に戻ってくる循環を(②)といいます。一方、心臓を出て肺を通り心臓に戻る循環を(③)といいます。

- ① 自由に動かせる腕や足などの骨格筋に対し、心筋のように自分の意思ではうごかすことができない筋肉を何と呼びますか。(配点 2)

【図 1】



②、③ 文章と【図1】に合う適切な語句を記入しなさい。(配点 1×2)

① 筋

② () 循環 ③ () 循環

II. 高齢者は、④老化により原因不明の高血圧にかかりやすくなっています。高血圧は、WHOのガイドラインによれば(⑤)のように定義されています。高血圧は⑥長期化すると様々な器官に影響を及ぼすため、食事制限や運動を適度に行い、降圧が見られなければ降圧剤を用いて治療をします。

- ④ このような高血圧を何と呼びますか。(配点 2)

④ 高血圧症

⑤ 高血圧の正しい定義を、以下の組み合わせから記号で選びなさい。(配点 1)

- A 収縮期血圧 150mmHg / 拡張期血圧 80mmHg
B 収縮期血圧 140mmHg / 拡張期血圧 85mmHg
C 拡張期血圧 150mmHg / 収縮期血圧 80mmHg
D 拡張期血圧 140mmHg / 収縮期血圧 85mmHg

⑤

5. 介護サービス利用までの流れに関する以下の記述の中に、それぞれ一ヶ所間違っている部分があります。間違えている下線部分に、正しい答えを記入しなさい。(配点 1×5)

- ①介護給付を受けようとする被保険者は、市町村に申請し、市町村に置かれる介護保険審査会で審査を受ける。
- ②新規申請後、地域包括支援センターから派遣された認定調査員が訪問し、本人や家族から 74 項目にわたる調査票による聞き取りを行なう。
- ③市町村は、原則 60 日以内に認定を行なう。その結果を、被保険者証に該当する区分、審査会の意見等を記載して返却される。
- ④40 歳～65 歳未満の医療保険加入者である第 2 号被保険者は、加齢にともなう特定疾患により要支援・要介護状態になった場合受給権が発生する。
- ⑤要介護・要支援認定がなされると、認定通知があった日から介護サービスを利用することができる。

6. ①～⑤の空欄に、それぞれ特徴の説明に当てはまる疾患名を記入しなさい。(配点 1×5)

①	別名をCOPD。主に喫煙が原因。肺に慢性の炎症が起こり、肺胞がこわれることで、息切れや喀痰が増加する。
②	神経伝達物質であるドーパミンの不足により起こる進行性の神経変性疾患。筋固縮や振戦など 4 大徴候がある。
③	別名をイレウス。高齢者の場合は便秘によって起こる場合が多いとされている。胃から流れた消化物が腸に詰まった状態。
④	ピゼンダニが皮膚表面に寄生して起こる伝染性疾患。通常型と角化型がある。症状は、激しい痒み、丘疹、水泡。
⑤	眼圧上昇などにより視神経が障害され、視野が狭くなる。自覚症状がないことが多い。進行すると失明する場合もある。

7. 認知症に関する次の記述のうち、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① ユマニチュードは、フランスで生まれた包括的コミュニケーションによる認知症ケア技法である。
- ② リロケーション・ダメージ予防のため、施設入所時に自宅で使用していた生活用品は持ち込まないほうが良い。
- ③ 地域包括支援センターは、認知症によって判断力が低下した人などが利用する成年後見制度の活用促進を行っている。
- ④ 認知症サポーターは、地域で暮らす認知症のひとやその家族を応援する社会福祉士を指している。
- ⑤ アルツハイマー型認知症の薬物療法に使用されるドネペジル塩酸塩(アリセプト)は、病期によって投与量が変わることはない

--	--



8. コミュニケーション技術に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① うつ病のある人とのコミュニケーションでは、考え方次第で改善することを説明するとよい。
- ② 難聴のある人とのコミュニケーションでは、話しかける前に後ろから肩をたたき、これから話をする合図をおくるとよい。
- ③ 感覚性失語症のある人とのコミュニケーションでは、50 音表を用いるとよい。
- ④ 構音障害のある人とのコミュニケーションでは、頷きながら聴き、聞き取った言葉を繰り返すとよい。
- ⑤ 認知症のある人とのコミュニケーションでは、話に耳を傾け、誤りを修正せず、その人の世界を受容するとよい。

--	--

9. 排尿のしくみと異常に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 尿道の長さは女性のほうが短く、そのため男性に比べて尿路感染症を引き起こしやすい。
- ② 全身をめぐる血液は、腎臓でろ過され、老廃物と余分な水分が尿として排せつされる。
- ③ 腹圧性尿失禁の原因につながる骨盤底筋群の低下は、女性よりも男性に多い。
- ④ 尿が出にくい場合は、水分をよく摂り、下半身を冷やすとよい。
- ⑤ 排尿時、尿道括約筋は収縮する。

--	--

10. 生活保護制度における生活保護の8種類のうち、現物給付の対象となるものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2)

- ① 生活扶助 : 飲食物費、光熱水費など
- ② 住宅扶助 : 家賃、住宅維持費など
- ③ 医療扶助 : 診察、薬剤、治療費など
- ④ 出産扶助 : 助産・分娩に必要な費用など
- ⑤ 教育扶助 : 学校給食費、教材費など
- ⑥ 生業扶助 : 技能習得費など
- ⑦ 介護扶助 : 居宅介護、福祉用具、施設介護費など
- ⑧ 葬祭扶助 : 遺体の運搬、埋葬費など

--	--

11. 身体拘束について、以下の問いに答えなさい。

身体拘束とは、主に認知症の高齢者を、施設や病院などで、介護上の必要性の有無にかかわらず、ひもや抑制帯などでベッドや車いすに縛るなどの行為を指します。身体拘束には①様々な弊害があることから、たとえ緊急やむを得ない場合であっても②3つの要件を全て満たしていることを施設が確認した場合のみとされています。また、施設としての判断に基づき、本人や家族の了承を得て実行される必要があり、その際の利用者の心身状況などを記録として残すことも義務付けられています。

① 様々な弊害とは具体的にどのような弊害がありますか。以下の表に合わせて具体例を1つずつ挙げなさい。(配点 2×3)

身体的弊害	
精神的弊害	
社会的弊害	

②3つの要件のうち2つを答えなさい。(配点 2×2)

1、 2、

12. 生きるために必要な栄養素についてまとめた以下の表を、語群から①～⑤に入る言葉を記号で選び、完成させなさい。(配点 1×5)

種類	主なはたらき	欠乏症	多く含む食品
ビタミン A	視力の調節	夜盲症	(①)
ビタミン D	(②) の吸収を助ける	骨粗鬆症	魚、干しシイタケ、卵
(③)	コラーゲンの合成	壊血病	野菜、果物、緑茶
食物繊維	(④)	動脈硬化症など	寒天、ひじき、きくらげ
(⑤)	浸透圧や Ph の調節	食欲減退、痙攣	食塩、しょうゆ、みそ

【 語群 】

ア 亜鉛	イ カルシウム	ウ ナトリウム	エ カリウム	オ 糖質	カ タンパク質	キ ビタミン C	ク ビタミン E
ケ 味覚を正常に保つ	コ 赤血球の増殖	サ 酸化防止作用	シ 血中コレステロールや血糖の上昇を抑制する	ス レバー、うなぎ、緑黄色野菜	セ カキ、ごま、小麦胚芽	ソ 米ぬか、豚肉、豆類	タ 海藻、肉、卵